

□主な内容

【第 8 回 EST 交通環境大賞の応募を受付中！】

今年度も交通環境大賞を行います。各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切:9 月 30 日〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2016.html>

【第 6 回地域の交通環境対策推進者研修会(仙台)の参加者募集中！】

10 月 26 日(水)～28 日(金)の 3 日間、仙台市において研修会を実施します。意欲のある方々の参加を期待しています。〔参加申込締切:9 月 16 日〕

<http://www.estfukyu.jp/training2016.html>

【第 32 回EST創発セミナー〔中国〕(松江)の参加者募集中！】

9 月 29 日(木)に第 32 回EST創発セミナー〔中国〕(JCOMMセミナー2016in 松江)を開催します。皆様からのご参加をお待ちしています。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu45.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 121 回)

●「持続可能性雑感」

【東京工業大学環境・社会理工学院 准教授 室町 泰徳】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 121 回)

●「松江市公共交通利用促進市民会議の取り組みについて」

【松江市歴史まちづくり部都市政策課交通対策係 副主任 安部 耕太郎】

3. ニュース／トピック

●第 8 回 EST 交通環境大賞の応募を受付中！【EST 普及推進委員会】

●「地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

●平成 28 年地域公共交通優良団体大臣表彰について【国土交通省】

●自動車運送事業用車両の環境対応車導入に係る補助制度について【国土交通省】

●「第 6 回カーボン・オフセット大賞」のエントリー募集について【環境省】

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016」の開催について【環境省】

●北海道運輸局環境対策アクションプラン(平成 28 年度版)の策定について【北海道運輸局】

- 平成 28 年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰について【近畿運輸局】
- 平成 28 年度九州運輸局交通環境対策アクションプランの策定について【九州運輸局】
- 燃料電池自動車「ミライ」を活用した有料カーシェアリング事業の開始について【京都市】
- 平成 27 年度県下一斉ノーマイカーデー運動の実施結果について【長崎県】
- 平成 28 年度県・市町村統一ノーマイカー運動について【滑川市】
- 無人運転バス「Robot Shuttle」の試験運行開始について【イオン株式会社】
- モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度の2次募集について【エコモ財団】
- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2016」(2016/9/16-22) 全国 11 都市で開催決定！【一般社団法人カーフリーデージャパン】
- アメリカエネルギー省とアメリカ公共電力協会が電気自動車市場の成長を加速する覚書に署名【アメリカエネルギー省】

4. イベント情報

- 第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2016/10/26-28】
- 第 32 回EST創発セミナー〔中国〕(JCOMMセミナー2016in 松江)【2016/9/29】
- 第 8 回土木と学校教育フォーラム【2016/8/28】
- 第 24 回地球環境シンポジウム【2016/8/31-9/2】
- 第 16 回スルッと KANSAI バスマつり【2016/9/25】
- 第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016【2016/10/10-14】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016【2016/10/29,30】
- 第 14 回 ITS シンポジウム 2016【2016/11/10,11】
- エコプロ 2016(第 18 回)【2016/12/8-10】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 121 回)

●「持続可能性雑感」

【東京工業大学環境・社会理工学院 准教授 室町 泰徳】

2016年8月22日現在、台風11号は関東地方から北海道に進み、先の台風9号とあわせて各地の交通システムに大きな被害をもたらしています。このところ毎年のように極端な天候による被害が生じており、直接的に関係付けることはできないと自制しつつも、長期的な気候変動が一部顕在化し、これに対する交通システムの脆弱性があらわになったとつい感じてしまいます。(脆弱とは反対の意味の)レジリエントな交通システムを目標とした計画が各国で進められています。イギリスの都市計画の教科書には「1990年代の計画の要が持続可能性であったとすれば、2000年代はレジリエンスである。」(Cullingworth, B. et al., *Town and Country Planning in the UK*, Routledge, 2015)と書かれていました。「持続可能性という言葉はひどく乱用され誤用されたがために、意味を失ってしまった。」とも書かれています。

「持続的な開発とは、将来の世代の欲求を充たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発をいう。」(大来佐武郎監修、地球の未来を守るために、福武書店、1987年(注))「持続可能性」という言葉を飛躍的に有名にしたこの一文は、先のイギリスの教科書にも引用されています。「地球の未来を守るために」では、この一文に続き「持続的な開発の概念」が詳述されていますが、「再生可能なレベル以下でしか再生可能な資源を使用せず、再生可能な代替物の開発レベル以下でしか再生不可能な資源を使用しないことにより、人々の健康と生態系を危険にさらさずアクセスに関するニーズを満たすような交通」(交通工学研究会 EST 普及グループ、地球温暖化防止に向けた都市交通、交通工学研究会、2009年)というOECDによる「環境的に持続可能な交通(EST)」の定義は、この詳述部分を参考としているように思います。しかし、やはり「将来の世代」という言葉が入っていた方が良かったかなあ、とったりもします。

現在の世代が「将来の世代」と見なされていたのはいつ頃でしょうか？現在の世代が直接会話をしたことが稀である世代とすると、20世紀前半くらいまでの世代でしょうか？現在の世代にとって「将来の世代」とは、21世紀の終わりくらいから生まれてくる世代でしょうか？現在の世代は「将来の世代」の欲求を満足させるような交通システムを何か遺せるのでしょうか？暴風雨から逃れてホッとした地下鉄の中で思い浮かんだ取りとめのないことを書いてみました。

注：この翻訳では「持続可能な開発」ではなく「持続的な開発」という言葉が使用されています。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 121 回)

●「松江市公共交通利用促進市民会議の取り組みについて」

【松江市歴史まちづくり部都市政策課交通対策係 副主任 安部 耕太郎】

1. 松江市における公共交通利用促進の“要”「松江市公共交通利用促進市民会議」とは？

今からさかのぼること約 10 年前の平成 18 年、松江市公共交通体系整備計画に基づき設置されました。以降、「市民・企業・交通事業者・行政」の協働により、運行の効率化やサービスの向上、利用促進等の取り組みを着実に取り組んできました。活動予算は“ゼロ”ですが、交通事業者の協力のもとに様々な取り組みを行っています。その取り組み内容につきまして、ご紹介したいと思います。

2. バスカードを活用した公共交通の利用促進

利用促進の取り組みのなかで、松江市のオリジナルというべき取り組みは、「とてもお得バス利用事業」ではないかと思います。これは、使用済みバスカードの活用方法について市民会議のなかで議論・検討した際のアイデアに基づき実現したもので、市内の路線バス事業者 3 社(一畑バス、日ノ丸自動車、松江市交通局)と市民会議が行っている事業です。使用済みのバスカードを協賛店利用時に提出すると、割引や特典などが受けられるお得な仕組みで、中には、「生ビール1杯無料」や「商品代金 10%割引」という協賛店もあります。協賛店は集めた使用済みバスカードの券面金額の合計額に応じて、バス車内の広告枠が一定期間利用でき、利用者、事業者、協賛店がまさに win-win-win になるような制度です。毎年、少しずつ協賛店も増えており、啓発のためのラッピングバスも市内を走っています。

3. 環境と公共交通を組み合わせた取り組み

松江市では、平成 21 年から秋の全国交通安全週間にあわせて「松江市一斉ノーマイカーウィーク」に取り組んでいます。環境負荷の軽減と公共交通の利用促進を目的に、過度なクルマ依存を見直すきっかけづくりとして、毎年市内 100 を超える事業所が参加をしています。その効果分析として、渋滞長、交通量や路線バス利用者数を調査し、主要交差点の渋滞長が減少したり、路線バスの利用者数が増加するなどの効果が見られます。また、ノーマイカーウィーク期間外との比較でも、年々渋滞長が減少したり、定期券発行枚数が増えるなど、「きっかけづくり」として一定の効果が認められています。

これらの取り組み以外にも、市民会議と国、県、市の道路管理者や警察との協働で、路線バスの走行環境の改善の取り組みも行っています。実際にバス乗務員から改善要望箇所を聞き取り、道路管理者同乗のもと同型車両で当該箇所を走行し、車両の揺れなどを

乗客の立場で体感し、路面の修繕や信号制御の改良を行うという全国的にも珍しい取り組みです。

このような、利用促進など様々な活動の結果、人口減少が進むなかで、近年は路線バスの利用者数の減少に歯止めをかけ、わずかではありますが、利用者を増加転換できました。今後も、「継続は力なり」を合言葉に、地道な活動を続けていきたいと考えています。

3. ニュース／トピック

●第8回 EST 交通環境大賞の応募を受付中！【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞を募集しています。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切：9月30日〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2016.html>

●「地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

国土交通省では、電気自動車バス・タクシー・トラック、燃料電池自動車バス・タクシー及び超小型モビリティの導入を支援する「地域交通グリーン化事業」の平成28年度第2回公募を実施します。公募期間は平成28年8月3日(水)～8月31日(水)です。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000168.html

●平成28年地域公共交通優良団体大臣表彰について【国土交通省】

国土交通省では、地域公共交通に関する取組みが他地域の模範となるような功績がある団体を表彰することで、優良事例の情報提供等を図ることを目的に、地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰を実施しており、今年度の受賞団体5団体を発表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo03_hh_000174.html

●自動車運送事業用車両の環境対応車導入に係る補助制度について【国土交通省】

国土交通省では、大気汚染問題や地球温暖化の改善等を図るため、バス・トラック事業者等による CNG バス・トラック等の次世代自動車の導入に対する補助を行っており、平成28年度についても、申し込みを受け付けています。補助金予定枠への申し込み期間は平成28年9月1日(木)～9月30日(金)です。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk1_000003.html

●「第6回カーボン・オフセット大賞」のエントリー募集について【環境省】

国土交通省では、優れたカーボン・オフセットの取組を行う団体を表彰し、奨励すると共に、具体的な取組事例の紹介を通じて、カーボン・オフセットの意義と取組への理解が社会全体に広く浸透することを目的として、今年度もカーボン・オフセット大賞を開催しています。

<http://www.env.go.jp/press/102882.html>

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016」の開催について【環境省】

環境省は、全日本学生自動車連盟が鈴鹿サーキットにて開催する「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016」において、エコドライブの普及による地球温暖化対策の推進を呼び掛けました。

<http://www.env.go.jp/press/102869.html>

●北海道運輸局環境対策アクションプラン(平成 28 年度版)の策定について【北海道運輸局】

北海道運輸局では、交通環境対策を体系的・具体的に取りまとめ、「平成 28 年度交通環境対策アクションプラン」として公表しました。このアクションプランにより、地球温暖化対策、大気汚染対策、循環型社会の形成、優良事業者表彰等についての取組を計画的かつ着実に推進していきます。

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kankyou/action_plan/

●平成 28 年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰について【近畿運輸局】

近畿運輸局では、CO₂の排出量削減をはじめ、交通に関する環境改善への取組みの成果が顕著であると認められた事業者等に対して交通関係環境保全優良事業者等表彰を行っており、平成 28 年度の表彰式を平成 28 年 9 月 2 日(金)に開催します。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/files/1470019645.pdf>

●平成 28 年度九州運輸局交通環境対策アクションプランの策定について【九州運輸局】

九州運輸局では、九州地域における運輸部門に関係する様々な環境問題に対する対策を取りまとめた「平成 28 年度九州運輸局交通環境対策アクションプラン」を策定し、九州運輸局ウェブサイトにて公表しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20160803-buturyu1.pdf>

●燃料電池自動車「ミライ」を活用した有料カーシェアリング事業の開始について【京都市】

京都市では、水素エネルギーの更なる普及拡大に向け、全国初の FCV を活用した本格的な有料カーシェアリング事業開始します。実施期間は平成 28 年 8 月 10 日(水)～平成 29 年 3 月 24 日(金)です。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000203178.html>

●平成 27 年度県下一斉ノーマイカーデー運動の実施結果について【長崎県】

長崎県では、徒歩、自転車や公共交通機関の利用あるいはエコドライブの利用促進のため、「県下一斉ノーマイカーデー運動」を呼びかけており、平成 27 年度に実施した県下一斉ノーマイカー&エコドライブウィークの実施結果を取りまとめました。

<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/citizens/nomycar/224332.html>

●平成 28 年度県・市町村統一ノーマイカー運動について【滑川市】

滑川市では、マイカーの運転を控えて、公共交通を利用を促進するため、平成 28 年度県・市町村統一ノーマイカー運動が実施されます。実施期間は平成 28 年 9 月 20 日(火)～10 月 14 日(金)です。

<http://www.city.namerikawa.toyama.jp/event-topics/svTopiDtl.aspx?servno=4308&srch=M>

●無人運転バス「Robot Shuttle」の試験運行開始について【イオン株式会社】

イオン株式会社では、豊砂公園の敷地内において、地域エコシステムの柱の一つである「地域内の交通や移動の進化」の一環として、無人運転バス「Robot Shuttle」を試験運転しました。

http://www.aeon.info/news/2016_1/pdf/160801R_2.pdf

●モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度の2次募集について【エコモ財団】

エコモ財団では、今年度もモビリティ・マネジメント教育の実施に意欲的な教員に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、実施校の拡大と新たな教材事例の増加を図ることを目的として本制度を実施し、2次募集をしています。〔募集期限：9月30日〕

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

●「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2016」(2016/9/16-22) 全国 11 都市で開催決定！【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン】

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2016が9/16(水)から9/22(火)までを基準に開催されます！今年、全国 11 都市の参加となります。今年のテーマは、「Smart mobility. Strong economy.(賢い移動。強い経済。)」です。ご参加の際は、ぜひ公共交通でお越し下さい。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan>

●アメリカエネルギー省とアメリカ公共電力協会が電気自動車市場の成長を加速する覚書に署名【アメリカエネルギー省】

アメリカエネルギー省とアメリカ公共電力協会は、政府と電力事業者が緊密に連携することで電気自動車市場の拡大を推進することを目的に、電気自動車市場の拡大加速に向けた協力に関する覚書に署名しました。

<http://energy.gov/articles/energy-department-and-american-public-power-association-sign-agreement-accelerate-growth>

4. イベント情報

● 第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時: 2016 年 10 月 26 日(水)～28 日(金)

場所: 仙都会館 8階 会議室など

主催: EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2016.html>

● 第 32 回EST創発セミナー〔中国〕(JCOMMセミナー2016in 松江)

日時: 2016 年 9 月 29 日(木)13:30～16:50

場所: 松江ニューアーバンホテル別館2階「湖都の間」

主催: 中国運輸局、松江市、EST普及推進委員会、エコモ財団、
日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu45.html>

● 第 8 回土木と学校教育フォーラム

日時: 2016 年 8 月 28 日(日)9:00～17:00

場所: 土木学会(講堂、A,B 会議室)

主催: 土木学会

共催: エコモ財団

<http://committees.jsce.or.jp/education04/node/38>

● 第 24 回地球環境シンポジウム

日時: 2016 年 8 月 31 日(水)～9 月 2 日(金)

場所: 首都大学東京南大沢キャンパス

主催: 土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/global/node/41>

● 第 16 回スルット KANSAI バスマつり

日時: 2016 年 9 月 25 日(日)

場所: 大阪府堺市大浜公園

主催: スルット KANSAI 協議会

<http://www.surutto.com/newsrelease/release/s160818.pdf>

● 第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016

日時: 2016 年 10 月 10 日(月)～14 日(金)

場所: The Melbourne Convention and Exhibition Centre (MCEC)

主催:メルボルン世界会議組織委員会

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/melbourne_2016/

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016

日時:2016年10月29日(土)、30日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●第14回 ITS シンポジウム 2016

日時:2016年11月10日(木)、11日(金)

場所:北海道大学 クラーク会館

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、北海道大学

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/

●エコプロ2016(第18回)

日時:(1日目)2016年12月8日(木)10:00~18:00

(2日目)2016年12月9日(金)10:00~18:00

(3日目)2016年12月10日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/>

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomom.or.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>